様式３(2020.06改)

作成日　令和　4年　2月　24日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392800070
事業所名	グループホームたなお

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	地域のつきあいは、積極的に行ってきたが、コロナ感染が終息せず、昨年同様に行事などが中止となり交流が減少した。 町内の回覧板配布や近隣の神社、公園の清掃活動などで近隣の方々とのふれあいは行われている。 管理者は認知症サポーターなどの講習会の講師を引き受け理解を深めてもらう活動を行っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	運営推進会議はコロナ禍の影響で今年度も出来る限り感染防止対策に留意して開催した。 参加メンバーは市高齢介護課職員、町内会長、市議会議員、利用者･利用者家族、GH管理者などバランス良く構成されている。 議題としては、入居者の状況、ヒヤリハット事例、感染対策など、またスライドでイベントの説明など行い、意見交換で出た意見については職員会議などで検討し反映できるように取り組んでいる。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	管理者は、碧南市高齢者福祉計画の策定委員で定期的に情報交換を行っている。 市主催の研修会で講師をしたり地域住民、民生委員などへ認知症研修を行ったりしている。 市職員や東部包括支援センター職員とは運営推進委員会議に参加頂き意見交換するなど良好な関係を築いている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	コロナ禍のため面会は居室に入らず玄関で行っているが、面談担当者を決め、苦情、要望など受け止める仕組みをつくつている。 出された意見、要望などは職員会議などで話し合い運営に反映させている。 ホーム便りは毎月発行して本人の暮らしぶりの情報は写真や手紙を添えて家族に報告している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価									○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○									